

睡眠の 起源と臨床

2026年
2月7日(土)
13:00-16:15

オンライン開催
Zoom ウェビナー

お申込みは
こちらから



参加費 無料

講師

瀬川記念小児神経学クリニック

院長 星野恭子 氏

睡眠と小児の発達：
治療と支援



講師

東京大学大学院 医学系研究科
システムズ薬理学教室



金谷啓之 氏

睡眠の起源から探る
いのちの強さと弱さ

助成：読売光と愛の事業団

主催：島田療育センター支援部

042-374-2101

受付時間 9:30～12:00 / 13:00～17:00

何故生物は眠りにつく必要があるのかはいまだ未解明な問いである。人は一生のうち三分の一は寝ている。それがただの休息ではないらしいことはわかってきている。また、様々な精神神経疾患が乳幼児期の睡眠障害と関連するともいわれている。人において生まれてからの1年は睡眠覚醒リズムが劇的に変化する時期である。ここで身につけたリズムはその後の発達の無意識のオペレーティングシステムとなり、すべての発達を下支えする。睡眠に関する臨床、および基礎研究の進歩はめざましいものがあり、一度ここでわかっていることとわかっていないことを整理する機会を設けたい。(島田療育センター 院長 久保田雅也)